



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2014年9月号 サマーキャンプ特集!



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/>

「YMCAでの思い出」

阿部 優也 (盛岡YMCA ベスト・キッズOB)

私は、岩手県立大学4年の阿部優也と申します。私のYMCAでの思い出について書かせていただきます。

私がYMCAに入ったのは、小学校2年生のときでした。友人にサッカーをしようと誘われたのがきっかけです。小学校4年生の時にYMCAのベストキッズに入り、本格的にチームとして練習するようになりました。当時の私は自分が試合に出るということは全く考えず、ただ友達とサッカーをすることが楽しいという考えでした。毎週土日に練習があり、今まで経験したことがないような辛い練習に励みました。最初は「どうしてこんなに辛いことしなきゃいけないのかなあ」なんてことも考えながら、友達もやっているから、というような考えでなんとなく練習に励んでいました。しかし、試合に出場するようになってから、この考えは大きく変わってきました。ベストキッズに入ってから、毎週のように練習試合をしたり、大会に参加したりして、試合経験を重ねました。そこで「嬉しい」という気持ちを感じることはありませんでした。そこで私は初めて「悔しい」や「勝ちたい」というような感情を抱きました。これまでの人生の中で誰かを相手に真剣に勝負をしたことがなかった私にとって、この経験はとてつもなく大きなものでした。試合に負ける度に今まで以上に真剣に練習に取り組むようになり、学校が終わってからも友達とひたすらサッカーをする、サッカー中心の生活になりました。サッカーが好きで好きで、飽きることはありませんでした。初めて試合に勝つことができた時のことは、今でもはっきりと覚えています。初めて試合に

勝って以降、自信になったのか少しずつ試合に勝てるようになりました。試合に勝つ度にどんどんサッカーが好きになり、もっとうまくやりたい、もっと勝ちたいと感じるようになりました。勝つことの難しさや嬉しさ、負けることの悔しさ、チームの仲間と目標に向かって努力することの楽しさ、これらを経験出来たということは、私のその後の人生の大きな財産となりました。これはYMCAでサッカーをしていたおかげだと今でも強く感じています。

(やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ、サッカーを楽しむ、仲間を大事にする、このような当たり前のことを行動で伝えてくださった伊藤真太郎さんには、今でも感謝しています。正直、練習のときや試合の時に叱られて落ち込むことは少なくありませんでした。それでも、伊藤さんはサッカーの相談には真摯に向き合い、試合や練習以外の時間では私達に友達のように接してくださいました。辛い練習も楽しく乗り越え、努力を続けることができたのは、チームの仲間の存在はもちろん、伊藤さんの人柄が大きかったなあと、今では思います。)

私が在籍していた頃とは環境も違っているとは思いますが、YMCAのいいところは変わっていないはず。今のベストキッズのみんなには、チームの仲間を大事にしてサッカーを楽しんで、もっともっとサッカーを好きになってほしいなあと、先輩として応援しています！頑張ってください！

みんなと過ごした思い出の夏。

..*☆ サマーキャンプ特集 ☆*..

サマーキャンプのスタートを飾る「わんぱくキャンプ」！今年は7月20日・21日に行われました。子ども25名、リーダー・スタッフ10名が都南つどの森に笑い声や叫び声・悲鳴(?)を響かせてきました！わんぱくキャンプは様々な「チャレンジ」のキャンプ。出発して早速キャンプ中の食事の買い出しに挑戦しました！そして、お弁当の後は突如現れた2人の泥棒からのミッションを挑みました！どれもグループで協力しなければならないものばかり。どのグループも素晴らしいチームワークを見せてくれました。夕飯作りもチャレンジが盛りだくさん☆薪割り、火付け、包丁するなど。「生まれてはじめて〜♪」なことにみんな真剣に取り組んでいました(^^)ナイトプログラムでは、謎の病に倒れたしろくまりーダーを救うため、試練をクリアするべく、子どもたちは心をひとつにして暗闇の中へ向かって行きました。泣いてしまった子もいましたがみんなと励まし合い、歌を歌って気を紛らわし、試練に臨んでいました。おかげでしろくまりーダーも無事に復活を遂げました☆ありがとう！

2日目。ジュスチャーリレーで朝から元気に遊び、寝袋をきれいにたためるまで何度もやり直したり、テント内を隅々まで掃除してくれる子がたくさんいました。そして、みんなで昼食のおにぎり作り。グループ毎におにぎりの具材を買ったのでいろいろな種類のおにぎりが出来ました！変わりだねは納豆！他には2種類の具材を合わせたオリジナルおにぎりもありました。フリータイムでは遊び道具を使うことなく、みんなで工夫し合い、陣取り、お化け屋敷ごっこ、おんぶ鬼ごっこなど、広場を駆け回っていました。

2日間、何事にも全力を出し切った子どもたち。いろいろなチャレンジに挑む子どもたちの姿はとても輝いているものでした☆

岩手大学教育学部3年 武田 悠 (ゴリナリーダー)

わんぱくキャンプ



サッカーキャンプ



8月1日～4日にいこいの村岩手で2014年サッカーキャンプが開催されました！今年度は総勢28名の選手が集まりました！今年度は久しぶりの中学生がいないキャンプということで昨年度までの雰囲気とはまた違った楽しいキャンプとなりました！初日はバスの中でのクイズ大会！着いてからは練習！低・中学年、高学年、GKに分かれての練習では各カテゴリで必死な顔が沢山見られるとてもいい時間でした！食事も練習！みんなでワイワイしながらも白米との闘いが繰り広げられました！2日目はプール！ビーチボールを使って遊んだりビート板を並べてその上を走ってみたりと1時間半があつという間に過ぎてしまいました☆夜にはチームが発表され、3日目は各チームで練習をしたり、ユニフォーム作ったり、プールに行ったりと午後までそれぞれの過ごし方をしました。その後…はBBQ!!なんて肉の多さだ…と言わんばかりの肉の量！あの肉は勝てない相手でした(笑)サッカーしたり、近くで野球とサッカーを混ぜた絶妙な遊びをしている別団体の闘いを観戦したりととても楽しい時間でした！夜には組み合わせ抽選会！キャプテンと監督から決意や目標などを聞き、大会コミッショナーが組み合わせを決めて選手宣誓をする選手も決まり、大会に向けて各チームが士気を高めていました！そして夜は部屋をごちゃごちゃに、チーム毎で最後の夜を過ごしました！4日目サッカーキャンプ最終日！朝は散歩！朝食を食べていよいよ第13回岩手山カップが開催されました！開会式をし、午前は予選リーグ、午後はトーナメントをしました！各チーム本気で1試合でも多く、自分たちの目標に向かって戦い抜きました！今大会はひげたまご監督率いる8RUNNERが優勝し、負けたチームは涙を流し、勝ったチームも負けたチームと一緒に最後の片付けまでやりきり、帰りのバスでは疲れきって寝てしまう姿も見られました！各チーム一人一人がイキイキとキラキラしたとてもいい大会になりました！これからのサッカー人生にとって大きな変化のきっかけになった選手も多くいたと思います！来年度には第14回大会が開催されることと思います！来年度も今年度に負けない熱いアツい大会になればと思います！

盛岡大学児童教育学科3年 向平 悟 (Gパンリーダー)

8月7日から9日にかけて外山森林公園で森を満喫してきました。子ども14名、リーダー6名、スタッフ1名の計21名と忘れてはいけないアンパンマンリーダーで行ってまいりました。

初日からあいにくの天気ではあったのですが、元気に楽しい3日間を過ごしましたよー！！1日目、雨の中でしたがみんなで協力して作ったハヤシライスは格別でした。薪を割ったり、食材を切ったりとみんなで一生懸命作りました。2日目、夜に謎の仮面の男が現れました。奪われた心をミッションをしながらみんなで取り返しました。ミッションを通してみんなの仲が深まったようでした。3日目はそば打ちをしましたよ！作り方を一から教わって作りました。生地を伸ばしたり、切ったりするのがリーダーよりも上手な子がたくさんいました(笑)このほかにも楽しいことがたくさん！鬼ろくとか…

3日間を通して天気は雨でしたが子どもたちの笑顔は快晴だったように思います。ぜひまたキャンプでみんなに会いたいと思います。

盛岡大学栄養科学部2年 小菅友輔 (わらびリーダー)



森の大自然満喫キャンプ

8月6日～9日に3泊4日で行われた「男鹿なまはげキャンプ」では8名の子どもたちと7名のリーダー&スタッフがおもしろおかし4日間を過ごしてきました。盛岡YMCAでは3年ぶりの海のキャンプ！1日目はバス移動でなまはげポイントをかけてのゲームをしたり、みんなで夕飯を作って食べたり、各バンガローで楽しい時間を過ごしました。2日目は海水浴へ！海の水がしょっぱすぎて叫んだり、潜ると魚が泳いでいて叫んだり、急に冷たい水が流れ込んできて叫んだり、海にはみんなの声が響き渡っていました。浮き輪に乗ってテトラポットまで泳いでいく子どもたくさんいました。夕飯後はみんなでバンガローに集まって、昔起きたという事件の犯人を当てる推理ゲームをしました。そして、翌日に行うスタンツ(出し物の発表会)の案をグループ毎に練り始めました。それぞれのグループが熱心に練習をしているようでした。3日目は近くの磯へ遊びに行きました！岩場を越えた先には、カニや魚やヤドカリがたくさん潜んでいました。みんな、時間を忘れるほど夢中になって捕獲に励んでいました☆遅めの昼食後、いよいよスタンツ発表です。歌、ダンス、ショートコント、漫才、劇、一発芸など、個性あふれる発表をたくさん見ることが出来ました♪そして、あつという間の4日目。男鹿にいられる残りわずかな時間を、磯へ行き、クラゲを発見したり、小さなフグを捕まえたりしている子や、YMCAの荷物の片づけを手伝ってくれる子がいました。長いバスの間もクイズや歌で大盛り上がりでした♪

盛岡YMCA 家村 知佳 (しろくまリーダー)



男鹿なまはげ キャンプ



田沢湖わくわく キャンプ

田沢湖わくわくキャンプは子ども12名、リーダー9名で秋田にある思い出の潟分校に2泊3日で泊まりに行きました。バスの中では「WA」を中心とした歌を歌って楽しみました。お昼ご飯を食べた後はお祭りで使う看板getのため、グループで協力して様々なミッションに挑戦しました。「WA」の振り付けをしたり、人間知恵の輪に挑戦したり。クリア後は自分達のお店の出し物を考え、いざ看板作り！アナにちなんで書いていたり、みんなで名前を書いたり、工夫を凝らしたステキな看板が出来ていました！夕飯はグループ毎にカレー、スープ、サラダを分担して作りました。夜はお祭り男お祭り女からのミッションにチャレンジ！ステキな団扇をgetしました。2日目はいざお祭りの準備！！みんなで鬼ごっこをして遊んだり、ブースを作ったり。自分達で必要なものを考え計算し、お買い物もしました。18時よりいざお祭りスタート！！たこ焼き屋、お化け屋敷、カキ氷、ひげたまごのラーメン屋さん。いろんなものがありました！沢山食べて遊んで、最後はみんなでお化け役をしてみたり…。どこもいろんな工夫があつて面白かったです！3日目には雨も止み、ついに田沢湖へ湖水浴に行きました！魚を全力で探したり、泳いだり相撲をしたり。短い時間の中で思いっきり遊びました。午後はフリータイム。魚釣りや虫捕り。とてもおっきなカエルも捕まえました！2泊3日みんなと過ごして、遊んで、協力して、様々な体験が出来、とっても楽しかったです。良い夏の思い出が出来ました！またみんなと会える日が来ることを心から楽しみにしています。

盛岡大学児童教育学科3年 種市 祥子 (とうふリーダー)

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 8月報告書

早いもので8月もあつという間に過ぎ去って行き、秋の装いを漂わせる天気が続いております。暑さ寒さも彼岸まで！昔の人やうまいことを言うものです。さて、この夏も多くの子どもたち、リーダーたちが宮古のプログラムに参加、お手伝いいただきました。サマーキャンプでは50名、水泳教室では54名の参加者、そして、リーダーたちも約20名がそれぞれのプログラムに参加、協力をいただきました。本当にありがとうございます。今回のプログラムは何故か雨続き。プログラムの合間を縫って天気良くなり、またプログラムがはじまると雨が降るといった感じでした。それでも子どもたちは雨にも負けず、寒さにも負けず、プログラムに参加してくれました。子どもたちの笑顔、パワフルな動き、そんな子ども

ちと一緒に過ごした時間が何よりも大切な、そして貴重な思い出となりました。震災から3年。そんな中で聞かされたのが子どもたちの恐怖への現れです。ちょっとした事が不安となり、トイレに行けない、一人で寝るのが怖い等々、キャンプ中に起きた出来事です。未だに心の奥底に残る恐怖感はあることなく残っていることを実感した場面でした。そんな子どもたちに寄り添い、支えあい、共に前進していくことがこれからの活動で必要不可欠な問題として考えながら取り組んでいかなければ行けないと身に沁みて感じました。子どもたちと共にYMCAの出来ることを継承しながらプログラムを進めていきます。

宮古ボランティアセンターセンター長 齋藤 勉



☆ボランティア数	29
☆受益者数	76
☆ボランティア数	89
☆受益者数	15
☆ボランティア数	0
☆受益者数	人

宮古での活動実績
(7月末日のべ人数)

↑ YMCA万歳！ 左からY・M・C・A！！
みんなまた来てね！

↑ 笑顔いっぱい楽しむ子どもたち！
水泳が楽しくなった！！

9月・10月の予定

- ★9月7日(日)
9月森のようちえん
「水と遊ぼう♪びしょぬれキッズ☆」
(於：都南つどいの森)
- ★9月14日(日) 13:00~16:00
サンデースクール 「ピザ作り」
(於：おでつて5F生活アトリエ)
- ★9月21日(日)
盛岡YMCA向中野センターバザー
(於：盛岡YMCA
向中野センターバザー)
- ★9月27日(土)~28日(日)
9月アドベンチャー
「野菜の収穫体験!!」
(於：秋田県 思い出の潟分校)
- ★10月5日(日) 13:00~16:00
サンデースクール
「プラネタリウムをつくろう!」
(於：ぶらいむ・たいむ本町校)
- ★10月19日(日)
10月森のようちえん
「秋を集めよう♪たんけんキッズ☆」
(於：滝沢森林公園)
- ★10月25日(土)~26日(日)
10月アドベンチャー
「潟分校で食欲の秋♪」
(於：秋田県 思い出の潟分校)

表紙の写真から



わんぱくキャンプ、1日目のプログラムでの1枚。
プログラムは、コソ泥からのミッションに挑み、盗まれたものを取り返すというものでした。ミッションはグループのメンバーの名前を覚えるものや、協力して風船を落とさないようにするもの、みんなの心を一つにポーズを合わせるものなど。それらを見事、各グループのチームワークによって、無事コソ泥たちから盗まれたものを全てを奪い返すことができたのでした☆

(7月20日 都南つどいの森にて)



君でいいんだよ ~JUST THE WAY "YOU"ARE③~

今回は、「違いを越える」ことについてお話ししました。子どもたちにとって、他者との違いに気づき、理解していこうとする姿勢は、どのように養われていくのか? なかなか難しい課題ですが、次の詩がヒントになるかも知れません。元日本YMCA同盟研究所 所長 吉永宏さんが翻訳し、全国紙のコラムでも紹介されました。

アメリカ インディアンの子

子どもたちはこうして生き方を学びます。
批判ばかり受けて育った子は
非難ばかりします。
敬意にみちた中で育った子は
誰とでも戦います。
ひやかしを受けて育った子は
はにかみ屋になります。
ねたみを受けて育った子は

いつも悪い事をしているような気持ちになります。
心が寛大な人の中で育った子は
がまん強くなります。
はげましを受けて育った子は
自信を持ちます。
ほめられる中で育った子は
いつも感謝することを知ります。
公明正大な中で育った子は
正義心を持ちます
思いやりのある中で育った子は
信仰心を持ちます。
人に認められて育った子は
自分を大事にします。
仲間の愛の中で育った子は
世界に愛を見つけます。

(盛岡YMCA総主事 濱塚 有史)



もりおかワイズメンズクラブ便り No.2

毎年、8月の末に広島YMCAの専門学校の学生の皆さんが、宮古にボランティアにやってきました。おたふくソースで研修を受けた皆さんが仮設住宅で本場広島のお好み焼きのお振舞いやレクリエーションを通して、仮設住宅の方々との交流を行っています。こうした学生の皆さんにとって被災した地域の様子を学ぶことはとても大切です。宮古から高田、気仙沼までの帰路、バスに同乗して、ガイドのボランティアを引き受けて下さっているのがもりおかクラブの長岡さんです。ガイドも今年で3回目。現在も大船渡にお住まいで、多くの貴重な情報を提供して下さいました。

※ 今回、広島YMCAの皆さんは、土砂崩れの発生の前に広島を出発し、翌朝宮古に到着しました。幸い参加者の皆さんの関係者の中に被害を受けた方はいませんでした。そんな不安の中でも明るい笑顔でボランティアをして下さいました。感謝



7月サンデースクール 「風鈴づくり」

7月6日に盛岡YMCAぶらいむ・たいむ本町校で行われたサンデースクールでは風鈴を作りましたよー!! ガラスの本体にペイントしたり、ビーズなどでデコレーションする姿は皆職人でした。風鈴の下につける短冊にもそれぞれの個性が見えました。七夕も近いということもあって、中には願い事を書いている子もいましたよー! 叶うといいです。ワイルドな風鈴、可愛い風鈴等々いろんな風鈴が見れました。それと同時に子どもたちのたくさんの笑顔が見られてとてもよかったです。ぜひ作った風鈴を家の前にぶら下げて風流を楽しんでほしいと思います。

今回のサンデースクールはピザを作ろうじゃないか!! ということでクッキングします! どんなピザができるのか今から楽しみです。たくさんお友達を誘ってみんなでクッキングしようじゃないか!! たくさんの参加をお待ちしております。



盛岡大学栄養科学部2年
小菅 友輔
(わらびリーダー)



●国際協力募金
中条和哉、岩井和己、大関靖二、岡田虎治、熊谷圭祐、伊藤眞一郎、フジクリン岩手、濱塚秋二、濱塚れい子、鶴丹谷三千代、魚住英昭、増田隆、今松桂子、熊谷太、濱塚有史、盛岡チャペル、早坂剛、鬼柳忠彦、上中優奈、杉田弘美

●東日本大震災被災地支援募金・献品
林辰也、佐々木翔一朗、佐々木朗人、港凱理、岩井和己、学校法人広島YMCA学園、小畑孝子、日本キリスト教団内丸教会、NPO法人茨城YMCA、吉崎陽

●寄附金
角谷晋次、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、佐藤翔、及川茂夫、熊谷力實、水田賢次、南原良哉、中村恵美子、伊藤真一郎

今野聖子、今野健男、角谷晋次、角谷千代子、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、濱塚真美、井上修三、井上浩太郎、井上優子、伊藤克見大関靖二、工藤茂子、佐藤翔、川坂保宏、及川茂夫、及川恵、名古屋恒彦、熊谷力實、(株)興和電設、小畑孝子、田村治之、水田賢次、南原良哉、一戸貞文、小関悦子、金部靖、川守田浩、金田節子、阿野東輝子、森山日菜乃、森山幹大、滝川佐波子、押切梓、岡田虎治、伊藤真太郎、伊藤愛美、及川、忠人、重石桂司、伊藤真一郎、魚住英昭、高瀬裕彦、長岡正彦

感謝

(2014年度
8月31日現在)
順不同・敬称略